



駅無人化で問題多発

無賃乗車横行！国労の指摘通り！



6月25日の西日本新聞で、JR九州の駅無人化の現状が大きく報道されました。最近10年の合理化で無人駅数が有人駅数を上まわったことにより、その結果、無賃乗車が横行していると報道されました。実際に無人駅の乗降を調査して、無賃乗車の実態やいくつかのインタビューなど通して生々しい実態を報道しています。しかし、これらの問題は、駅を無人化した時点で分かりきったことであり、国労も「合理化」の団交の席で厳しく追及してきました。駅員がいなくなれば、障害を持った人や車いす利用者等に安全とサービスが低下すること

は明確であり、合わせて利用者のモラルを低下させることにつながり不正乗車が増える」と指摘してきました。利用者からすれば、少しでも安く済ませよう「乗車券代を浮かそう」と考えるは当たり前のようになっていくのではないのでしょうか。そのため正規の運賃を購入して乗車している人も不公平感が強まり、当たり前前に運賃を払うことがバカらしく感じてくると思われます。しかし会社は「乗客の良みに委ねるのが基本」として具体策を出そうともしません。特別改札や抜き打ちの検札を行っているといいますが、現場ではあまりそんな感じは見

受けられませんが、ほとんど野放し状態と言えます。検札を強化すると、罰則を強めるとかの対策が早急に求められています。

そしてなにより安全やサービスを向上させるためにも、有人駅に戻すことが求められています。コストは上がっても鉄道会社として利用者が不公平感を持たないようにしていくことが必要です。

国労は引き続き駅無人化施策に反対していきます。

「生きるためのがん保険Days1」スタンダードプラン入給付金日額10,000円
保険期間：終身（抗がん剤・ホルモン剤治療特約）（がん先進医療特約）は10年更新

診断 一時金として	それぞれ1回限り がん 50万円 上皮内新生物 5万円	手術 1回につき 20万円
特定診断 一時金として	1回限り がん 50万円	放射線 1回につき 20万円
入院	1日につき 10,000円	抗がん剤・ ホルモン剤 10万円（給付倍率2倍） 乳がん・前立腺がんの ホルモン剤治療のとき 5万円（給付倍率1倍）
通院	1日につき 10,000円	

●契約年齢：0歳～満85歳まで

▽70～79歳は保障の対象外

プランに組み込まれた特約

がん先進医療	がん先進医療給付金 1回につき 先先進医療にかかる技術料のうち 自己負担額と同額 がん先進医療一時金 1回につき 15万円
複数回診断	1回につき 50万円 上皮内新生物 5万円
特定保険料 払込免除	免除事由に 該当後の保険料は いたしません。

■募集代理店（アフラックは代理店制度を採用しております）
アベニール株式会社
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

（引受保険会社）
「生きる」を創る。
アフラック
東京第二法人営業部
東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル19F
TEL.03-3344-1420 FAX.03-3344-2658
AFFAC No.2017-5036 1月1日